

芦北町こども計画（素案）に関する意見公募の結果と町の考え方について

令和7年3月25日

芦北町福祉課

「芦北町こども計画（素案）」に関するご意見の募集（パブリックコメント）を下記のとおり実施しましたので、その結果とご意見に対する町の考え方を公表します。

貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 意見の募集期間

・令和7年3月10日（月）～令和7年3月24日（月）

2 意見の件数（意見の提出者）

・2件

3 意見・提案の内容と町の考え方

No.	意見・提案（要約）	町の考え方
1	・ 保育、小学生、中学生と支援が充実してきており、とても助かっている。 ・ 可能であれば、乳幼児を対象としたベビー用品等の購入用クーポン券等があれば良いと思う。 ・ 産後事業は、もう少し充実してほしい。産後の訪問支援があれば助かると思う。	現在、産後の母子への支援については、保健師が行う乳児全戸訪問や相談事業、産後ケア事業等を行っています。 令和7年度からは、産後ケア事業を拡充し、助産師がご自宅を訪問する「訪問型」を追加し、産後の母子へ更なる支援を実施します。 その他のご意見につきましては、具体的な事業・取組を検討する際の参考とさせていただきます。

	・ 芦北町の「合計特殊出生率」は熊本県平均を下回っている。子育て支援策が空回りしていないか。 ・ また「婚姻率」にいたっては、全国・熊本県平均を大きく下回っている。 ・ 近年、急速に「地方は子育てに向かない」化が進行しており、その危機感を全町民が共有する必要があるのではないか。	
2	・ 「保護者」、「こども」に向けたアンケートの回答率は高い一方、「若者」はわずか２６％であり、「若者」は、町政の現場から疎外された存在となっているのではないか。 ・ 「結婚して子供が出来れば、子供の成長に応じて、地域での役割を担っていく」という従来の地方ライフステージ感だけでなく、若者の地域への参画法を提案していく必要があるのではないか。	ご意見につきましては、具体的な事業・取組を検討する際の参考とさせていただきます。